

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	工業簿記 1 (Industrial Bookkeeping 1) 392086-14-600					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
1 年次配当の簿記入門では商品売買業における基本的な簿記を学んだ。工業簿記 1・2 では製造業における簿記を学ぶ。工業簿記 1 では日商簿記検定 2 級における工業簿記の範囲の中でも個別原価計算から単純総合原価計算までを学ぶ。本講義は事務・経理職のスペシャリストを目指すために必須の知識であり、日商簿記 2 級対応科目である。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
スライド資料、レジュメ等は Google Classroom を通じて配布する。授業ではインプットが中心になる。アウトプット（問題演習）は復習として必ず行うこと。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「商業簿記 1」「商業簿記 2」「工業簿記 2」と共に履修することを強く推奨する。									
⑤ テキスト（教科書）									
滝澤ななみ(2023)『簿記の教科書 日商 2 級 工業簿記 (第 8 版)』TAC 出版 (出版予定)									
滝澤ななみ(2023)『簿記の問題集 日商 2 級 工業簿記 (第 11 版)』TAC 出版 (出版予定)									
⑥ 参考図書・指定図書									
各年度に対応した予想問題集等。必要に応じて紹介する。									
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 費目別計算、個別原価計算、単純総合原価計算に関わる仕訳について、検定試験レベルの問題を解くことができる。									
(ii) 個別原価計算および総合原価計算を用いた原価計算を行うことができ、検定試験レベルの問題を解くことができる。									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 個別および単純総合原価計算の仕訳	難易度の高い検定試験レベルの仕訳問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの仕訳問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの仕訳問題について6割程度正答できる	基本的レベルの仕訳問題について正答できるのは6割未満である
(ii) 個別および総合原価計算による原価の計算	難易度の高い検定試験レベルの原価計算ができる	標準的な検定試験レベルの原価計算問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの原価計算問題について6割程度正答できる	基本的レベルの原価計算問題について正答できるのは6割未満である
(iii)					

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 個別および単純総合原価計算の仕訳	20%	10%						30%
(ii) 個別および総合原価計算による原価の計算	60%	10%						70%
(iii)								
フィードバックの方法	小テストは採点して解答解説とともに返却する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業はインプットが中心となるが、それでもできるだけ多くの問題（検定レベルを含む）に触れられるようにし、本質的な理解が進むようにしたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス、工業簿記の基礎	予習：教科書 CH01 工業簿記の全体像、原価の分類、一連の流れを把握する（電卓持参）	120 分
2	材料費（実際原価）	予習：教科書 CH02 材料費の分類と購入・および消費の処理について把握しておく（電卓持参） 復習：教科書 CH02 基本問題	120 分
3	材料費会計（予定原価）	予習：教科書 CH02 予定消費の場合について、原価差異の把握と有利不利の判定を理解しておく。（電卓持参） 復習：教科書 CH02 基本問題	120 分
4	労務費会計（実際原価）	予習：CH03 賃金の前月・当月未払と当月支払額の関係から消費額を求める方法を理解しておく。（電卓持参） 復習：教科書 CH03 基本問題	120 分
5	労務費会計（予定原価）	予習：教科書 CH03 予定消費額との差異の把握を理解しておく。（電卓持参） 復習：教科書 CH03 基本問題	120 分
6	経費会計	予習：教科書 CH04 経費の分類と消費額のことをよく理解しておく。（電卓持参） 復習：教科書 CH04 基本問題	120 分
7	製造間接費会計（実際原価）	予習：教科書 CH05 製造間接費の配賦方法（配賦率・配賦額の計算）を理解しておく。（電卓持参） 復習：教科書 CH04 基本問題	120 分
8	製造間接費会計（予定原価）	予習：教科書 CH05 特に製造間接費の差異分析を概観しておく。巻末の参考も読んでおく（電卓持参） 復習：教科書 CH05 基本問題	120 分
9	個別原価計算（原価計算表・勘定の作成）	予習・復習：第 8 回までの内容を復習し、教科書の個別原価計算に関する基本問題が解けるようにする。（電卓持参）	120 分
10	個別原価計算（問題演習）	予習・復習：教科書の基本問題、問題集の費目別計算、個別原価計算の問題が解けるようにしておく（電卓持参）	120 分
11	部門別計算（直接配賦法）	予習：教科書 CH06 部門別配賦表だけではなく勘定連絡を理解しておく（電卓持参） 復習：教科書 CH06 基本問題	120 分

12	部門別計算（相互配賦法）	予習：教科書 CH06 直接配賦法と相互配賦法の違い、製造部門費の予定配賦を勘定連絡とともに押さえておく。（電卓持参） 復習：教科書 CH06 基本問題	120 分
13	部門別個別原価計算（問題演習）	予習・復習：教科書 CH06 基本問題、問題集第 4 問対策が解けるようにする。（電卓持参）	120 分
14	問題演習①（基本レベル）	予習・復習：教科書の基本問題が解けるようにしておく。	120 分
15	問題演習②（検定試験レベル）	予習・復習：問題集の第 4 問対策が解けるようにしておく。	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性